

事務事業名		公立こども園・保育所・幼稚園管理運営事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業	
政策体系	政策名	06 豊かな心を育む人づくりの推進		事業期間		予算科目	
	施策名	26 幼児教育の充実					
	基本事業名	01 就学前教育環境の整備・充実					
根拠法令		児童福祉法、大船渡市立幼稚園保育料等条例、ほか		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 昭和41 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		会計 01 款 03 項 02 目 06 07 00 01 00 04 08	
所属	部課名	生活福祉部子ども課					
	課長名	下田牧子					
	係名	子育て支援係	電話 0192-27-3111				
	担当者	安居清隆	内線 191				
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)			
1. 公立の幼保連携型認定こども園2園(綾里こども園、吉浜こども園)、認可保育所1施設(越喜来保育所)、幼稚園1園(越喜来幼稚園)における管理運営等に係る事務を行う。 具体的には、①保育所児童・幼稚園児の募集、入所・入園許可、②保育料の賦課・徴収、③こども園・保育所・幼稚園の運営に関すること(園長心得会議の開催等)、④施設の維持管理業務(委託契約事務等)及び維持管理に係る予算執行等。事業費は、施設の維持管理経費。  2. 各施設において、①保護者の就労等の事情により家庭で保育できない児童(0歳6ヶ月児～就学前)の保育、②幼稚園児に対する幼児教育を行う。なお、こども園では3歳以上児、越喜来幼稚園においては4歳以上児で、①②を合同クラスで一体的に行う。事業費は、保育、幼児教育の実施に要する経費(教材等消耗品費、給食用賄材料費)。				総投入量(千円) 事業費 財源内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 0 人件費 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B) 0 トータルコスト(A)+(B) 0			

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 1. 保育所・幼稚園児の募集、入所承諾書・入園通知書の作成、新入園児名簿の作成等、保育料の賦課・徴収、施設の運営に関する事項の園長心得会議の開催 2. こども園・保育所・幼稚園における幼児教育及び保育の実施 今年度計画(今年度に計画している主な活動) 前年度同様	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 名称 単位 ア 公立こども園・保育所・幼稚園職員数(臨時職員含む) 人 イ 公立こども園・保育所・幼稚園施設数 施設 ウ
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 ・昼間家庭で保育できないために公立保育所に入所する就学前児童(満0歳6ヶ月児以上)及びその保護者 ・公立幼稚園に就園する児童(綾里・吉浜こども園の幼稚園:満3歳児以上、越喜来:満4歳児以上)及びその保護者	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 名称 単位 カ 公立保育所入所児童数(こども園保育所籍含む) 人 キ 公立幼稚園入園児数(こども園幼稚園籍含む) 人 ク
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・昼間家庭で保育できない就学前児童を保育することにより、就学前児童を持つ保護者の安定した子育て環境を確保する。 ・就学前児童への幼児教育を行うことにより、就学前教育を求める保護者のニーズに応えることができる。	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 名称 単位 サ 保育サービスが充実していると感じる市民の割合(どちらかといえばを含む) % シ 仕事と子育てが両立できる環境が整っていると感じる市民の割合(どちらかといえばを含む) % ス 公立保育所定員充足率(入所児童数/定員) %
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) ・就学前児童を持つ保護者の安定した子育て環境を確保することにより、児童の健全育成に繋がる。 ・就学前教育の実施により、小学校入学以降の学力安定に効果があると見込まれる。	

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業費	財源内訳	単位	年度							
				23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)		
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	780	399	1,473	0	0	
			都道府県支出金	千円	0	0	0	1,473	0	0	
			地方債	千円	0	0	0	0	0	0	
			その他	千円	16,688	21,813	27,452	27,230	25,511	25,000	
			一般財源	千円	14,953	3,306	6,934	18,724	28,059	25,000	
			事業費計(A)	千円	31,641	25,899	34,785	48,900	53,570	50,000	
			人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2
			延べ業務時間	時間	1,800	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	
			人件費計(B)	千円	7,200	4,800	4,800	4,800	4,800	4,800	
			トータルコスト(A)+(B)	千円	38,841	30,699	39,585	53,700	58,370	54,800	
⑤活動指標	ア	人	33	30	31	32	31	29			
	イ	施設	5	4	4	4	4	3			
	ウ										
⑥対象指標	カ	人	113	124	146	143	148	130			
	キ	人	31	27	16	19	14	20			
	ク										
⑦成果指標	サ	%	46.0	47.4	47.4	42.6	44.1	48.5			
	シ	%	29.1	35.9	32.2	27.3	27.6	29.4			
	ス	%	68.5	91.9	108.1	110.0	70.4	90.2			

事務事業ID	0992	事務事業名	公立こども園・保育所・幼稚園管理運営事業
--------	------	-------	----------------------

<b>(3) 事務事業の環境変化・住民意見等</b>	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	公立保育所・昭和40年代前半から高まった地域の保育ニーズにこたえるため、保育所を開設することとした。 公立幼稚園・住民から就学前教育の充実に係る要望があり、昭和54年度に公立3幼稚園（綾里、越喜来、吉浜幼稚園）が開設されたことがきっかけである。
② 事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	全国的に少子化の影響で、公立幼稚園入園者数は減少傾向にある。地域住民の意向を尊重し、幼保一体化施設（認定こども園・幼稚園と保育所のそれぞれの機能を一体化した施設）の実現を目指してきた。綾里・吉浜地区では、地域合意が得られたことから認定こども園制度の導入を進めた結果、幼保連携型認定こども園としての認定を受け、平成23年4月から各こども園を開設。平成27年4月から、子ども・子育て支援新制度が施行されるため、全ての公立施設は新制度へ移行することとなる。越喜来こども園は、越喜来保育所が被災し、災害復旧による建築に合わせ、平成28年度に開園するための整備を行っている。
③ この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	幼保一体化施設について、認定こども園開設前は市議会で質問されている。 なし

**2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価**

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 次代を担う児童の健全育成のためには、保育に欠ける就学前児童の保育及び就学前教育が必要であり、児童福祉法、学校教育法等の関係法令や条例、規則に基づいた事務事業であるため。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 旧三陸地区においては、全ての施設が民間法人となっている旧大船渡地区と比較すると、保育所、幼稚園ともに入所・入園人数が少なく、採算面を考慮すると民間法人による運営が困難であることから、市が責任を持って運営する公立施設の存在が必須である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 児童福祉法、学校教育法等の関係法令や市条例、規則等に基づき実施しており、対象、意図とも妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 現在、綾里・吉浜の両こども園において乳児(0歳児)保育を実施しているが、諸事情により越喜来保育所では実現できていない。越喜来保育所で乳児(0歳児)保育を実施することにより、より幅広い保育ニーズに応えることが可能となり、成果向上に繋がる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 仮に廃止または休止した場合、保育に欠ける児童の同地区内における預かり先が無くなることや、同地区内での幼児教育実施施設が無くなることから、影響は大きい。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？ 平成27年度に子ども課新設により、それまでの地域福祉課における事務と、学校教育課による公立保育所関係事務を一本化し、民間・公立保育所関係事務を同一部署で実施し、事務効率を向上している。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 平成23年度において崎浜保育所の休止及び越喜来保育所・幼稚園の合同保育、平成24年度から甫嶺へき地保育所の休止を、それぞれ実施したことにより、保育・幼児教育施設は綾里、越喜来、吉浜各地区に各1施設ずつとなったことから、現状においてこれ以上の事業費削減余地は、ない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 現在、合同保育を実施している越喜来保育所・幼稚園において、所長、園長心得を兼務とすることにより、管理職人件費を削減することとなったことから、これ以上の人件費削減の余地はない。 また、越喜来保育所・幼稚園の施設が災害復旧に伴い新築され、認定こども園として運営される場合は、子育て支援機能の必置義務があることから、子育て支援スタッフ分の人件費が増える可能性がある。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 事業の内容が一部の受益者に偏っている不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 保育所・公立幼稚園・こども園の利用者負担(保育料)は、「大船渡市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例」に基づき、世帯の所得状況等を勘案して定められており適正である。

### 3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</p> <p>子ども課で公立認定こども園・保育所・幼稚園の一体的管理運営により、効率的な管理運営が可能となった。また、保育所に関する事務についても、子ども課に統合し、事務効率の向上が図られている。</p>									
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善 )</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>新設した子ども課に保育所関係事務等を統合したことで、子育て施策(児童関係各手当、家庭児童相談等)、保育所事業に関する事務等の連携が図られ向上している。</p> <p>また、平成28年度に越喜来認定こども園を開設予定としており、の越喜来地区においても乳児(0歳児)保育実施が可能となり、より幅広い保育ニーズに応えることが可能となる。</p>	<p>(4) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等</p> <p>特になし</p>																						

(職名) ※原則として施策の主管課長 (氏名)

4 事務事業の2次評価結果	2次評価者	子ども課長	下田牧子
---------------	-------	-------	------

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい</p> <p><input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている</p> <p>②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <p><input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されていない)</p> <p><input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)</p>																						
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table border="1"> <tr> <td>① 目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(3) 評価結果の根拠と理由</p> <p>震災により被災した越喜来保育所は、越喜来幼稚園と合同で保育を行っており、保育スペースが十分に確保できていないが、平成28年度にこども園が開設されることで保育・教育の充実が図られる。</p>									
① 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
② 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
③ 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
④ 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>事業のやり方改善 ( <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善 )</p> <p>(上記方向性に対する具体的な内容)</p> <p>平成28年度において、越喜来保育所・幼稚園を統合して新たに越喜来こども園を開設し、幼児教育・保育の充実を図ることとしている。</p>	<p>(5) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持		○	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		●																			
	維持		○	×																		
	低下		×	×																		

### 5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
---------------------